

向陽台小だより

5 月 号
令和 2 年 5 月 1 日
富田林市立向陽台小学校

その日がくるまで

こうちょう こむら かつとし
校長 古村 勝俊

しんりよく きせつ がつ むか がっこうまわ がいる き はじ せいもんまえ
新緑の季節、5月を迎えました。学校周りの街路にはつつじが咲き始め、正門前の
け や き な み き わ か ば か ぜ き ら き ら さ か み ち げ ん き か よ
ケヤキ並木の若葉が風にゆれキラキラときれいです。いつもならこの坂道を元気に通っ
てくる子どもたちの姿が、今はありません。

しゅくだい い こ よろこ からだ き
「宿題入れてくださったんですね。」「子どもたち喜んでました。」「お身体気をつけてく
ださいね。」

ひ び かてい こ せいかつ じんりよく なか きょうかしよ う と き
日々、ご家庭での子どもたちとの生活に尽力されている中で、教科書を受け取りに来
ていただいた保護者の皆さんから、私たちに掛けていただいたことばです。

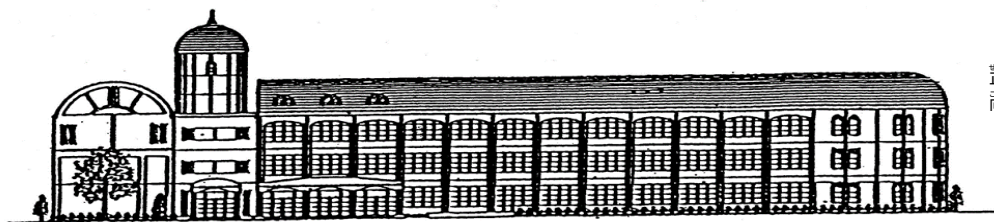
みじか やわ えが お ひ と こころ あか げん き
ときに、短いことばや柔らかい笑顔が人の心を明るく、そして元気にしてくれます。
ます く ご みじか か い わ ほ ご し ゃ み な や さ か ん む ね
マスク越しでの短い会話にも、保護者の皆さんの優しさや温かさを感じ、この日は胸い
っぱいになりました。

しんがた かんせんしやう えん と も な あ まえ がっこう
新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、開いているのがあたり前だった学校が
りんじきゅうこう こ かてい にちじよう おお か じたい
臨時休校となり、子どもたちやご家庭の日常が大きく変わる事態となりました。

ふあん かか さき みと お ひ び つづ なか げつ す
だれもが不安を抱え、先が見通せない日々が続く中で、2か月が過ぎようとしていま
す。そと あそ ぶ たい と も あ がっこう い
「外で遊びたい」「友だちと会いたい」「学校に行きたい」と、ずっとがまんしている
子どもたちは、ストレスを抱えこころや体にも影響を受けていることと思います。

かん がっこう こ こころ かんせんよぼう かんきやう がっこう
この間、学校では、そんな子どもたちの心のケア、感染予防のための環境整備、学校
さいかいご じゅぎやう かていがくしゅう くふう かくど けんとう おこな
再開後の授業につながる家庭学習の工夫など、さまざまな角度から検討を行っている
ところです。がっこう さいかい こ あんしん がっこうせいかつ おく
学校が再開されたとき、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、
きやうしよくいん ち え だ あ じゅんび すす
教職員みんなで知恵を出し合い、準備を進めてまいります。

いま だれ まな や えが お ひ おも えが
今は誰もいない学び舎に、みんなの笑顔がもどってくる日を思い描きながら。



せいもん側から見る
向陽台小学校